

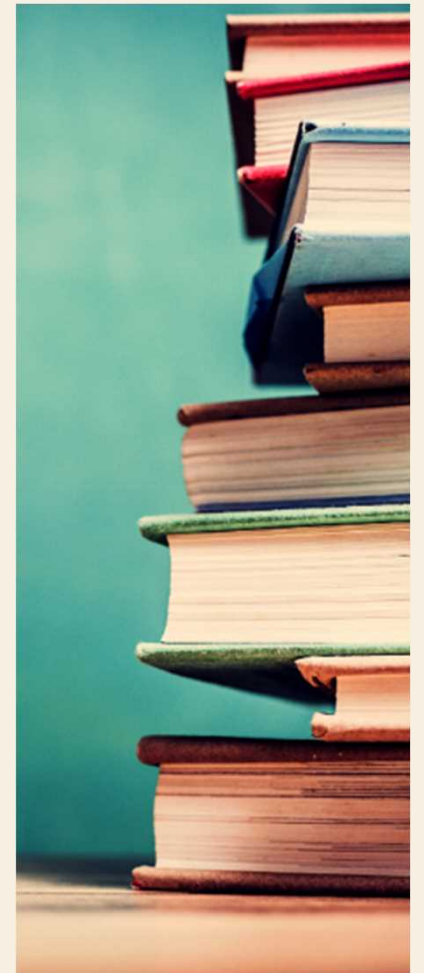
学校における国語教育と国語課題

令和3年12月21日

於 文化審議会国語分科会国語課題小委員会ヒアリング

鎌倉女子大学 善本久子

(前東京都立白鷗高等学校・同附属中学校長)



今求められる国語力と学校教育



求められる国語力の変化

【教育内容の主な改善事項】（学習指導要領改訂のポイントから）

○言語能力の確実な育成

・発達の段階に応じた、**語彙の確実な習得**、意見と根拠、具体と抽象を押さえて考えるなど**情報を正確に理解し適切に表現する力**の育成（小中：国語）

・学習の基盤としての各教科等における言語活動（実験レポートの作成、**立場や根拠を明確にして議論すること**など）の充実（小中：総則、各教科等）

※「小学校低学年の学力差の大きな背景に語彙の量と質の違いがある」

「高等学校では（中略）国語の語彙の構造や特徴を理解することが課題となっている。」

（いずれも中央教育審議会答申）

高校の国語の科目の大改訂

平成 21 年告示学習指導要領	平成 30 年告示学習指導要領
【共通必修科目】 国語総合（4 単位）	【共通必修科目】 現代の国語（2 単位） 言語文化（2 単位）
【選択科目】 国語表現（3 単位） 現代文 A（2 単位） 現代文 B（4 単位） 古典 A（2 単位） 古典 B（4 単位）	【選択科目】 論理国語（4 単位） 文学国語（4 単位） 国語表現（4 単位） 古典探究（4 単位）

（単位数は標準単位数）

◎ 共通履修科目は「現代の国語」と「言語文化」に分かれる。文学的文章は「言語文化」に含まれ、相対的に古典と文学作品の時間数は減少し、**実社会に必要な国語の知識や技能**が重視される。

◎ これまで最大 4 単位であった現代文の領域が「論理国語」と「文学国語」に分かれ計 8 単位に増加したことで、結果的に理数系進路希望の生徒を中心に**「文学国語」を履修しない生徒の増加**が予想される。

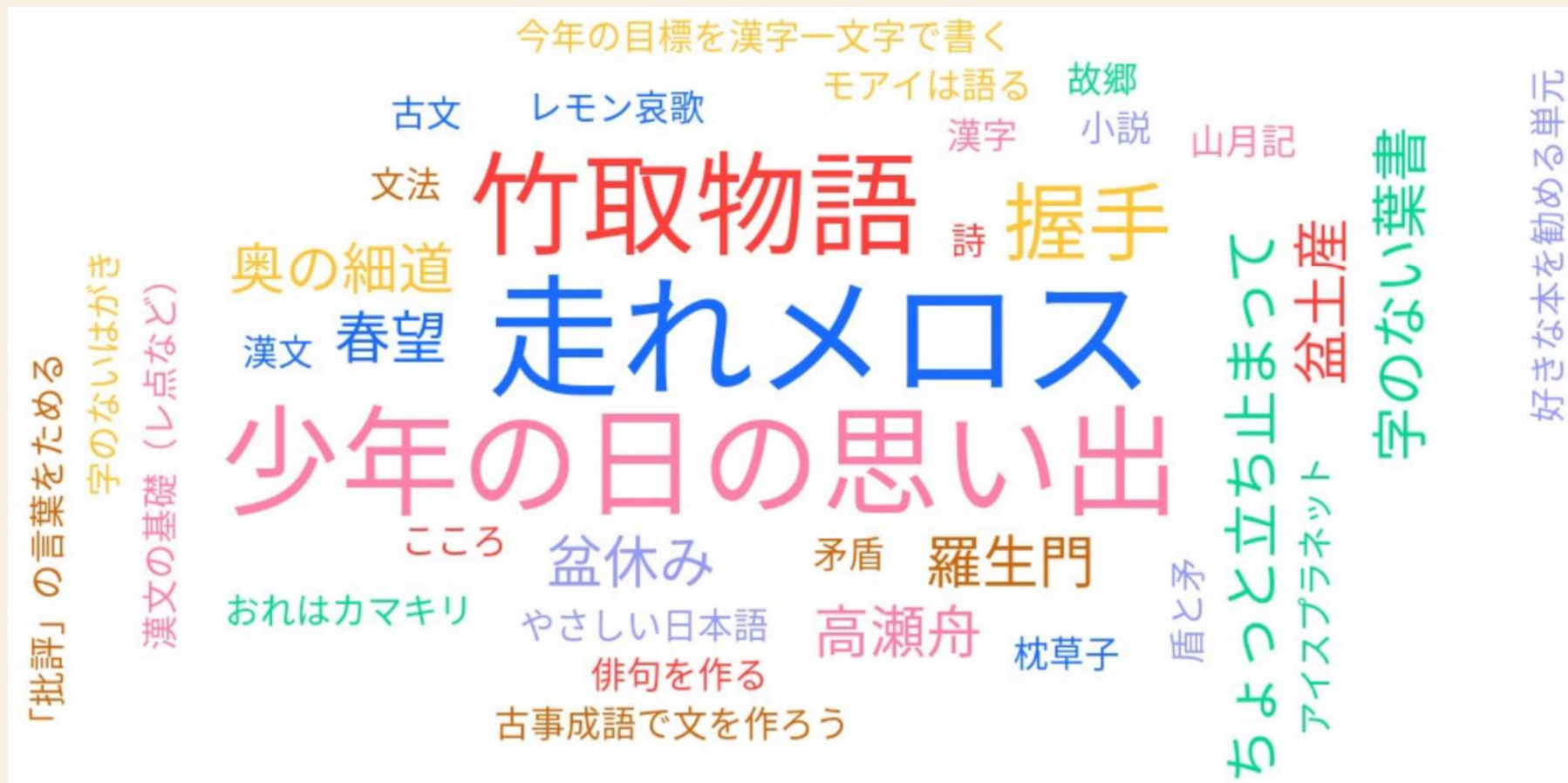
◎ 『話すこと・聞くこと』、『書くこと』の領域の学習がより重要視される。

◎ 情報の取扱いが小中高を通じて重視される。

新学習指導要領における国語の言語活動例

- 異なる形式で書かれた**複数の文章**や、**図表等を伴う文章**を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする活動。（「現代の国語」）
- 和歌や俳句などを読み、**書き換えたり外国語に訳したり**することなどを通して互いの解釈の違いについて話し合ったり、テーマを立ててまとめたりする活動。（「言語文化」）
- 主張を支える根拠や結論を導く論拠を**批判的に検討**し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。（「論理国語」）
- 小説を、脚本や絵本などの他の形式の作品に**書き換える**活動。（「文学国語」）
- 古典を読み、その語彙や表現の技法などを参考にして、**和歌や俳諧、漢詩を創作**したり、体験したことや感じたことを文語で書いたりする活動。（「古典探究」）

印象に残る国語の授業（中学校）



「批評」の言葉のための

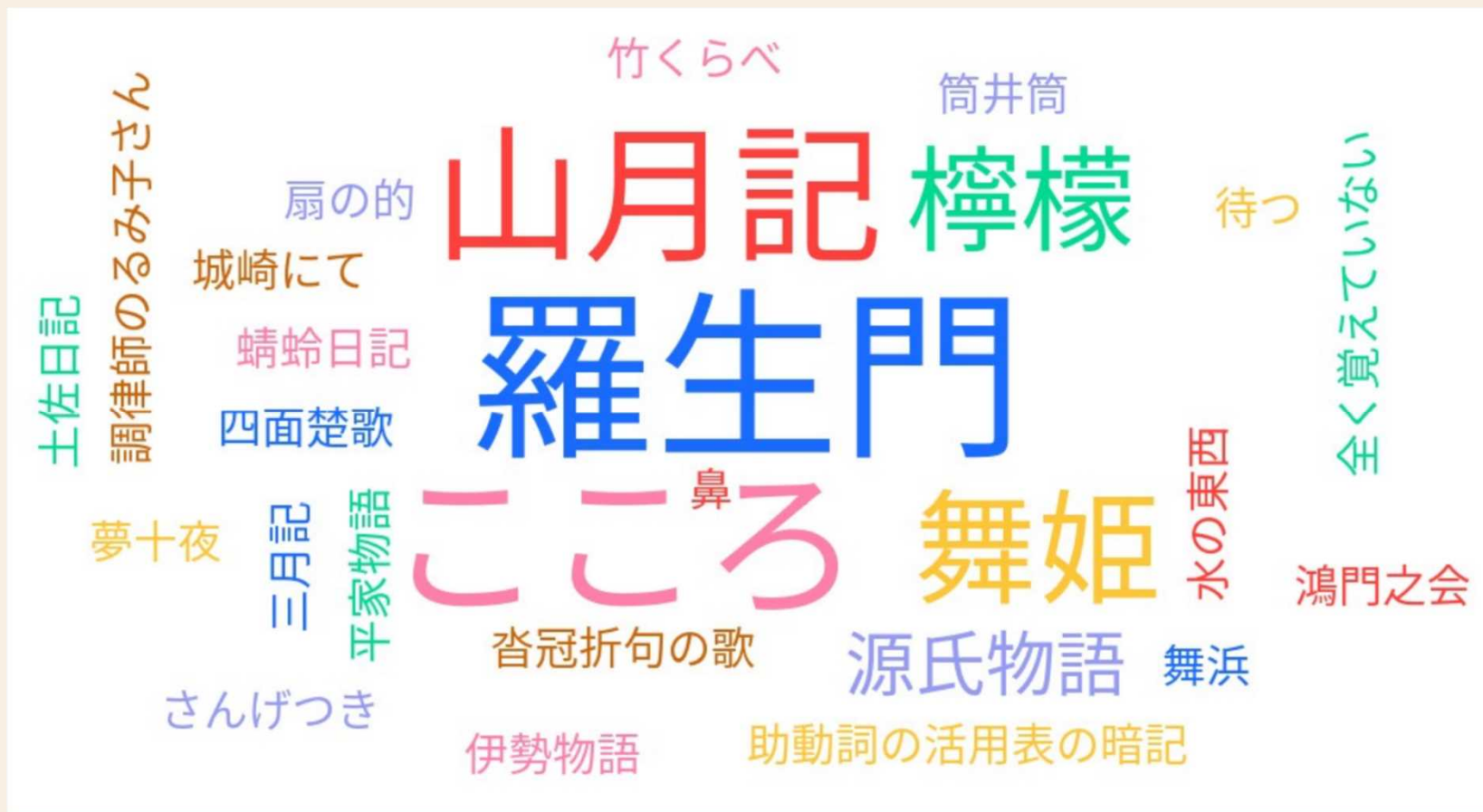
字のないはがき

漢文の基礎（し点など）

好きな本を勧める単元

鎌倉女子大学で国語科教育法履修の3年生への調査（同一の回答数が文字の大きさに反映）

印象に残る国語の授業（高校）



鎌倉女子大学で国語科教育法履修の3年生への調査（同一の回答数が文字の大きさに反映）

これからの国語教育の方向性

実社会で役立つ国語、語彙を豊かにすることが重視される

受容型ではなく発信型の言語活動が増える

論理的、批判的な思考や表現が重視される

道徳教育をも包含してきた文学作品を学ぶ機会が減る

グローバル人材育成と国語教育



外国語教育と国語教育

【教育内容の主な改善事項】（学習指導要領改訂のポイントから）

○外国語教育の充実

・小・中・高等学校一貫した学びを重視し、外国語能力の向上を図る目標を設定するとともに、**国語教育との連携を図り日本語の特徴や言語の豊かさに気付く指導の充実**

※「グローバル化の進展」という言葉が高等学校学習指導要領解説国語編でも多用されている。

グローバル化の進展に関連した国語の課題

○（内向きの）海外で通じない和製英語・地名・人名

Wien→ウィーンと言うのは日本語を母語とする人だけ

杜甫・李白→「とほ」「りはく」と発音したら、海外では全く通じない

グローバルスタンダードに近づけるよう基準を示すべき？

○日本語と英語における文法用語の混同

「早く」「ゆっくり」「静かに」は英語に訳すとすべて副詞だが、

日本語では形容詞と副詞と形容動詞で全部違う品詞

生徒は混乱している

GIGAスクール構想と国語教育

※GIGAスクール構想

子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けた、令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境の構築



PISAの学習到達度調査

OECD（経済協力開発機構）加盟国を中心に、3年おきに世界の15歳を対象に行われる学習調査。「**科学的リテラシー**」「**数学的リテラシー**」「**読解力**」の他、各種の環境調査や意識調査も実施。この調査結果は国の教育施策に大きな影響を与えてきた。

	2012年	2015年	2018年
科学的リテラシー	1位	1位	2位
数学的リテラシー	2位	1位	1位
読解力	1位	6位	1 1位

※2015年からコンピュータ調査に移行した影響が考えられる

PISAの学習到達度調査

学校の勉強のために、インターネット上のサイトを見る **日本がOECD加盟国最下位**

図 13 日本

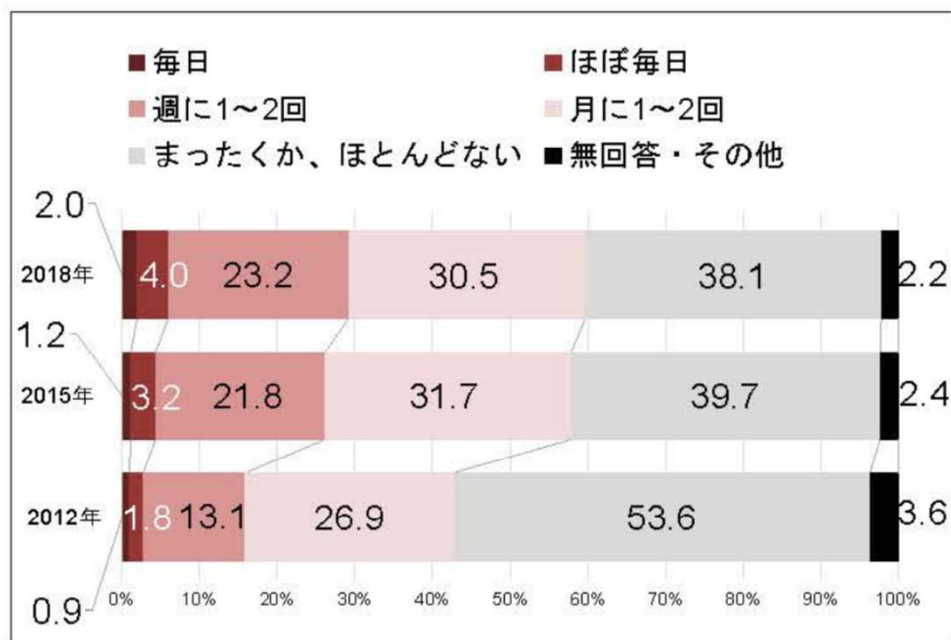
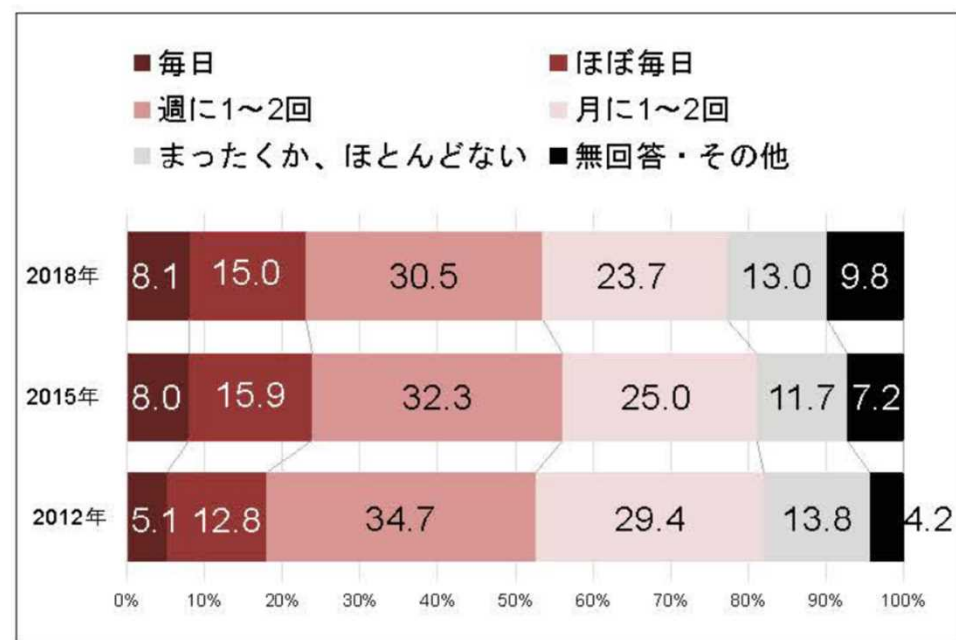


図 14 OECD 平均



出所：OECD PISA2018、2015、2012 データベースをもとに国立教育政策研究所が作成。

PISAの学習到達度調査

「コンピュータを使って宿題をする」

日本がOECD加盟国最下位

図 29 日本

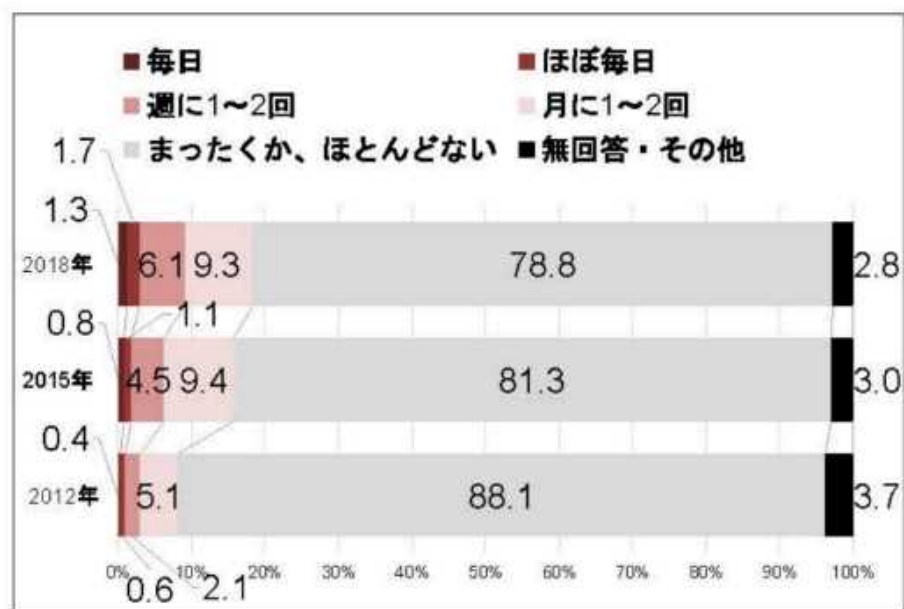
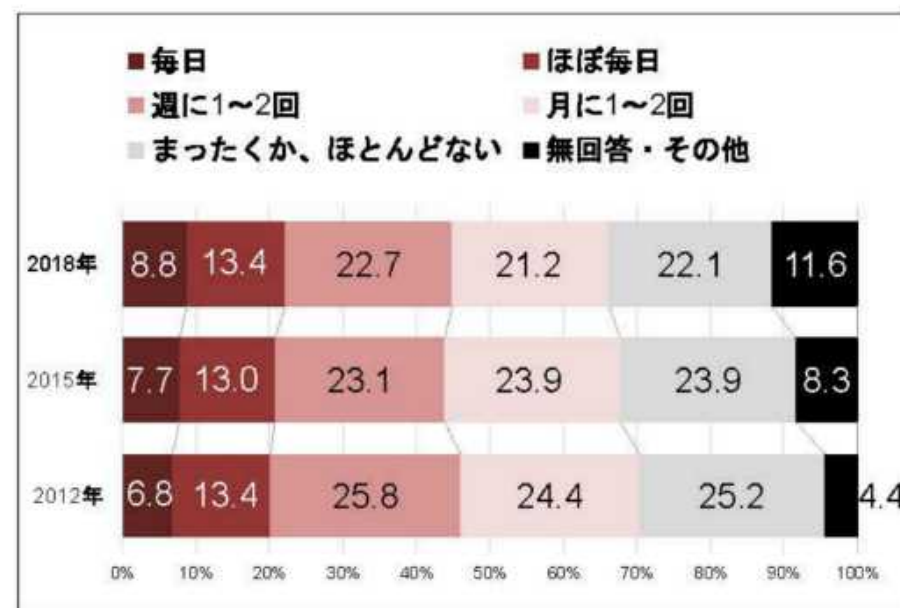


図 30 OECD 平均



出所: OECD PISA2018、2015 データベースをもとに国立教育政策研究所が作成。

PISAの学習到達度調査

「一人用ゲームで遊ぶ」

日本がOECD加盟国 1 位

図 49 日本

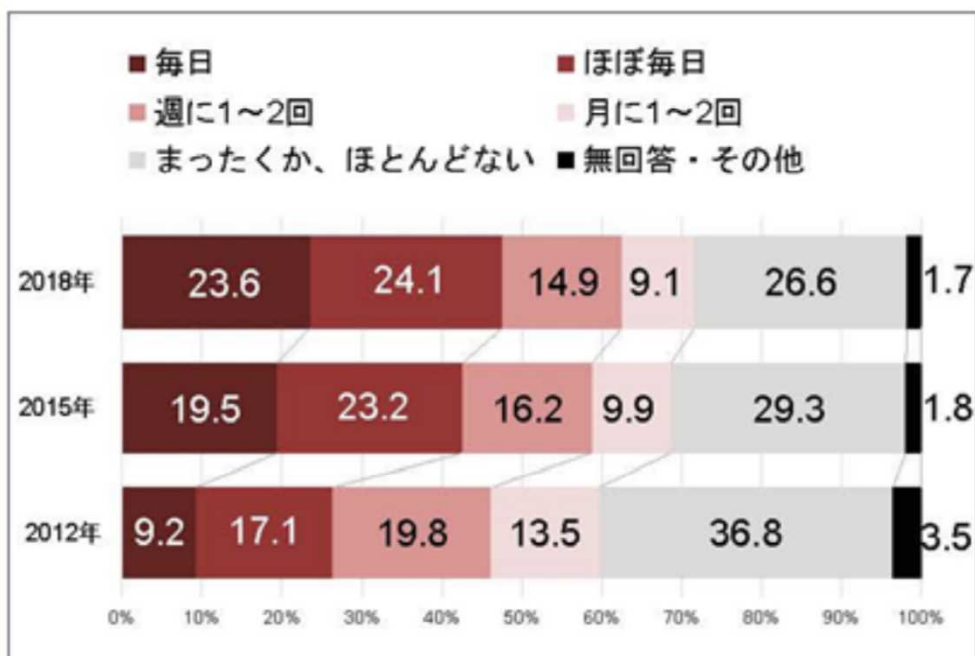
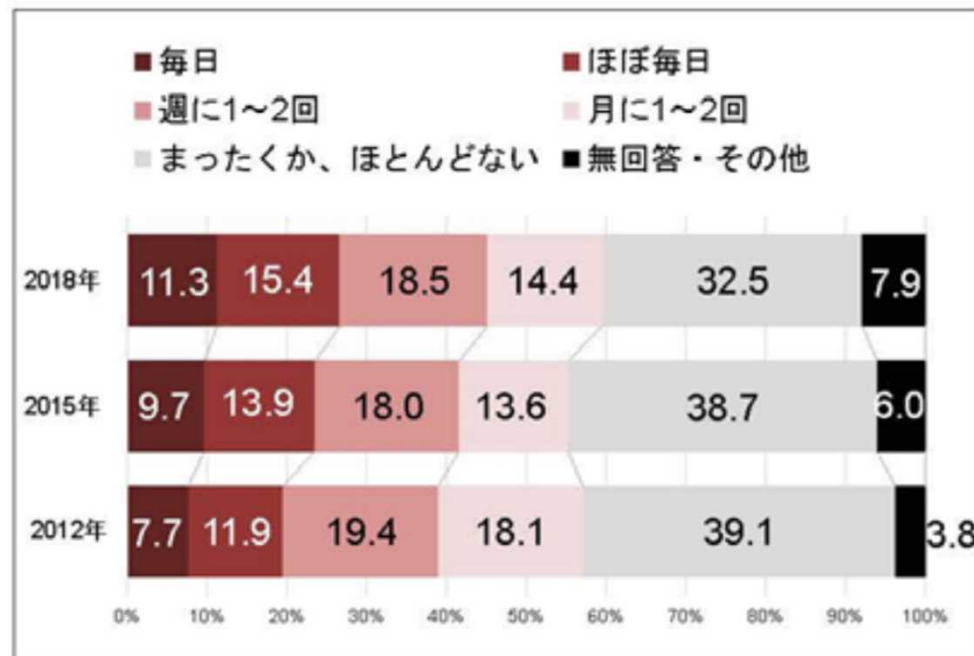


図 50 OECD 平均



出所: OECD PISA2018、2015、2012 データベースをもとに国立教育政策研究所が作成。

GIGAスクール構想による国語教育の変化

- ◎ 児童・生徒が手で文字を書く時間が確実に減る
- ◎ インターネットを活用した学びのための情報の扱い方に関する指導を充実させる必要がある



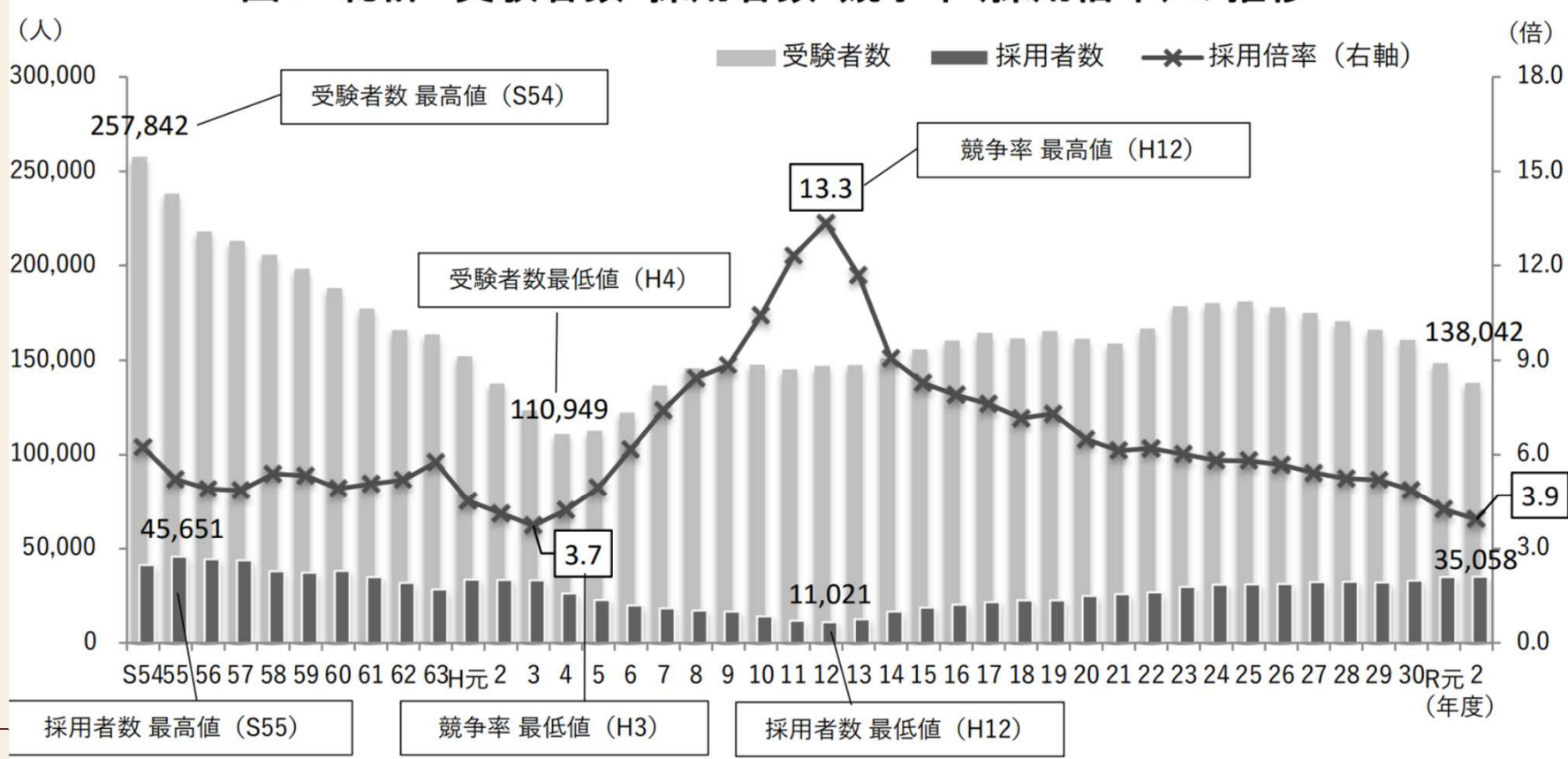
手書きによる文字の習得を前提としない国語施策は？
誤用に対応したICTの世界に国語教育はどう関わるか？

国語教師の現状と、今後の教師養成 の在り方



全国の公立学校教職員採用選考の状況

図1 総計 受験者数・採用者数・競争率(採用倍率)の推移



「令和2年度 公立学校教員採用選考試験の実施状況のポイント」文部科学省 令和3年2月2日公表

東京都公立学校教職員採用選考の状況

(単位：名)

採用年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
区分							
小学校全科	受験者数 [A]	4,368	4,098	3,694	3,328	3,053	2,725
	名簿登載者数 [B]	1,436	1,503	2,030	1,614	1,546	1,164
	受験倍率 [A÷B]	3.0倍	2.7倍	1.8倍	2.1倍	2.0倍	2.3倍
中・高共通	受験者数 [A]	6,961	6,399	5,232	4,837	4,250	4,120
	名簿登載者数 [B]	901	902	1,175	1,189	1,278	939
	受験倍率 [A÷B]	7.7倍	7.1倍	4.5倍	4.1倍	3.3倍	4.4倍

最新の令和4年度向け選考では、採用予定者の減少で倍率は若干もちなおすも、受験者数は継続して大幅に減少している状況

※国語の状況

	H29	H30	H31	R2	R3	R4
中高共通国語 倍率	7.1倍	4.9倍	3.7倍	2.7倍	2.7倍	3.3倍

東京都教育委員会
令和3年10月22日公表

教師の資質の課題と国語教育

- ◎ 選考の倍率は、資質の問題に直結している。倍率の向上のためには、働き方改革等が不可欠。
- ◎ 現場は特に小学校教師の資質の確保に危機感をもっている。小学校段階は、文字を獲得する過程で**国語学習の重要度**が相対的に高いと考えられ、教師の質の確保が喫緊の課題。
- ◎ 入口の質の低下は、使命感をもって研鑽を積む教師を育成していくことで変えられる。そのための研修の充実が重要。
- ◎ 研修の質と量は自治体によりかなり格差がある。**国語教師が国語施策を知る機会**は多くない。**周知・啓発の機会**の確保が必要。